

# 上野殿御返事

弘安三年一月三日 五九歳

むしもち 十字六十枚・すみざけひとつつ やまのいも 薯蕷五十本・こうじ 柑子二十・くしがき 串柿一連送り給ひ候ひ畢んぬ。法  
華経の御宝前にかざり進らせ候。

春の始めの三日、種々の物法華経の御宝前に捧げ候ひ畢んぬ。花は開いて果となり、  
月は出でて必ずみち、灯は油をさせば光を増し、草木は雨ふればさかう、人は善根をな  
せば必ずさかう。其の上元三の御志元一にも超へ、十字の餅満月の如し。事々又々申  
すべく候。

正月三日

日 蓮 花 押

上野殿